

中学1年生における リーディングからライテ ィングへの プロジェクト実践報告

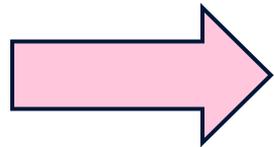
執行智子(東京未来大学)

カレイラ松崎順子(東京経済大学)

英語で書く

天満 (1998, 17)

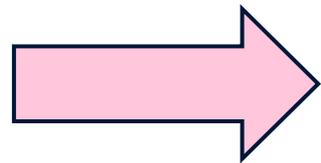
主題となるものを、自分でまず徹底的に考えること。つまり、自分は何を言うべきか、それは言うに値することか、それを人にわかるように明確に表現しうるか、を自分で考え抜くこと。そのうえで書き始めること



パラグラフ・ライティング

大井 (2008a, 92) :

説得力を増す文章を書くためには自分の主観のみの感想から読み手に理解されるようより客観的な言説へと持っていく力が必要になってくる。



クリティカル・シンキング

読解力向上に関する指導資料

—PISA調査(読解力)の結果分析と改善の方向—
(文部科学省, 2005)

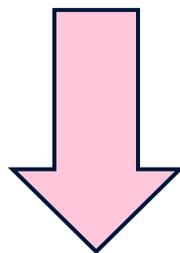
テキストを単に読むだけでなく、テキストを利用したり、テキストに基づいて自分の意見を論じたりすることが求められている。

大井 (2008b, 176)

問題文として出されたテキストを正確に読んだ上で、そのテキストの内容に基づいて、それを根拠として、自分の意見を表現する、ということが求められている

英語で書く

パラグラフ構造を知り利用する
クリティカル・シンキングを身に着ける
自分の意見を表現する



英語を始めたばかりの中学一年でどんなライティング活動をすべきか

本実践報告の概要と目的

教科書で使用したリーディング教材を利用し、生徒が自ら興味を持って取り組める身近なテーマを選び、調べたことをライティングし、その後、それをプレゼンテーションするという2つのプロジェクトを行った。そしてそれらのプロジェクトを通して、生徒が自らの気づきや学習に対する振り返りを行った。本実践報告では、これら2つのプロジェクトが生徒の気づきや学習に対する振り返りにどのように影響を及ぼすのか、また生徒の動機づけにどのように影響するのかを調査することを目的とする。

参加者および学習背景

- 私立女子中学校1年11名

附属小学校からの内部進学者3名

小1より週1時間外国語活動

音声中心だが、単語を読む活動も入れている

外部から9名(公立小学校卒)

小5より週1時間外国語活動

音声中心

- 私立女子中学校1年カリキュラム

週6時間、内1時間はALTがphonicsやチャンツをする

使用テキスト：New Treasure 1, New Horizon 1(適宜)

方法

振り返りシート

プロジェクト1ではプロジェクト終了後、プロジェクト2では、第10時と第12時終了後にきにゆうさせた。

- 何について調べたか
- 調べた資料は何か
- 調べる時に工夫したことは何か
- 英語で書くときに工夫したことは何か
- 英語で書いた感想

質問紙調査

- 本プロジェクトにより内発的動機づけがあがるかどうかを調べるために、内発的動機づけに関する質問項目(4項目)をプロジェクトの前後に行った。
- 4件法
- あてはまる (4点) あまりあてはまる (3点) あまりあてはまらない(2点) あてはまらない(1点)

質問紙

- 今まで知らなかったことがわかるようになる、うれしいから英語を勉強します。
- 楽しいから英語を勉強します。
- 新しいことを学ぶことがすきだから英語を勉強します。
- 勉強をして、いろいろなことを知ることがおもしろいから英語を勉強します。

プロジェクト

- プロジェクト1

「伝記を書こう」

動詞の過去形

個人活動

- プロジェクト2

「今と昔物語」

There is/are ~ now

There was/were ~ then

グループ活動

プロジェクト1 「伝記を書こう」

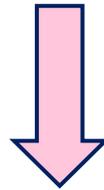
- reading 教材

Alex's Lemonade

(*New Treasure* p. 126-5)

- writing 材料

動詞の過去形, および時を表す副詞(句) (in 1980, on August 1, 2004, at the age of 3)を使って、事実を表現する



自分の関心のある人について調べ英語で伝記を書き発表する
自分の思いを含む・・・ She/He was great because ~

個人活動

Process (Project 1)

- 第1時 教科書のテキストを読む
- 第2時 目標を示し、テーマの選択（図書館）をする
- 第3時 資料収集しworksheet 1を作成する
- 第4時 モデルを提示し、読む
- 第5時 原稿を書く
- 第6時 原稿を書き、PCで精書する
- 第7時 リハーサル、発表、講評

worksheet 1

1. Date of birth

• _____

1. Place of birth

• _____

1. At the age of ()

• _____

• At the age of ()

• _____

• At the age of ()

• _____

1. She/He was great because

• _____

1. Date of death

• _____

1. Place of death

• _____

伝記を書こう

プロジェクト2 「今と昔物語」

- reading 教材

Mansfield — Yesterday and Today

(*New Treasure* p. 162-3)

- writing 材料

There is/are ~ now と There was/were ~

then を使ってあることの現在と過去を比較描写する



学校およびその付近の今昔について調べ、発表する
グループ活動

Process (Project 2)

- 第1～2時 テキストを読み、worksheet 2を作る
- 第3時 目標を示し、modelを提示し、読む
- 第4時 テーマの選択（図書館）
- 第5時 テーマの決定 および資料収集
- 第6～7時 worksheet 3の作成、原稿を書く
- 第8時 原稿を書く
- 第9時 原稿の校正、リハーサル
- 第10時 第1回発表、原稿の校正
- 第11時 原稿の校正、リハーサル
- 第12時 第2回発表、講評、原稿の清書(個人)

worksheet 2

| | 昔 | 今 |
|-------------|---|---|
| 町にいるもの、あるもの | | |
| 町の様子 | | |

worksheet 3

Kitami-----Yesterday and Today

YESTERDAY

- .
- .
- .
- .
- .
- .
- .
- .
- .
- .

TODAY

- .
- .
- .
- .
- .
- .
- .
- .
- .

今と昔物語

(生徒の振り返りから)
調べる時に工夫したことは何か

• プロジェクト 1

- 本を何度も読み返したこと
- 資料に書いてあったことをすべて書かずに**一部だけ**書いたこと
- オードリーの**すごいところ**はどこか
- ディズニーは有名なことがたくさんあったので、それらを**うまいように**まとめたこと
- 自分が**すごいな**と思ったことを書きだして、その中から選んだ

(生徒の振り返りから)
調べる時に工夫したことは何か

• プロジェクト 2

- 細かい部分までちゃんと見た
- 「世田谷区」という大きなくくりから喜多見にある文化遺産を探すこと
- インタビューは何が、大切なことか考えた。
- 喜多見という本は分厚くいろんなことが書いてあるので一番大切なものだけを取り出すこと

抽象的な言葉→具体的な言葉

(生徒の振り返りから)
英語で書くときに工夫したことは何か

• プロジェクト 1

- 自分のわかる単語をたくさん使ったこと
- スペルはしっかり辞書で確認した
- 英語に変える時にごちゃごちゃにならないようにした

(生徒の振り返りから)
英語で書くときに工夫したことは何か

• プロジェクト 2

- 読む側の人にわかりやすく書くこと
- 文の並べ方
- 文のつなぎ目に気を付けた
- 自分がちゃんと伝えたいことを完璧な英語にすること。

(清書後)

- スペルを間違えないようにした(4人)
- ピリオドなどがついていないか確認した
- 英文の語順に気を付けた

(生徒の振り返りから) 英語で書いた感想

• プロジェクト 1

- (自分で書いたものが) すらすら読めるようになった
- 難しかったけど、辞書を使って、一つ一つの単語を調べたりするのが、面白かったです。この日本語はこういう英語であらわされるんだと思ったりもしました。皆の前で発表した時は、とても緊張しました。

(生徒の振り返りから)

英語で書いた感想

• プロジェクト 2

- とても難しかったが、英語で書くことによって、自分の知っている単語が増え、わからない単語の読み方もわかりました。
- どのようにしたらしっかり文をつなげるかを考えた。
- しっかり意味が分かる文章にした。
- 少し英語を覚えることができた
- グループでしたことによって、できないことができたり、わからない事がわかるようになった

(生徒の振り返りから) 英語で書いた感想

(清書後)

—みんなで協力してできたので、すごく楽しかった

—すごくやったかいがありました

—三人で協力して、英文を書いたりしたので、楽しかったし、面白かった

—いっぱい英語を書いたから、難しいスペルや、わからなかったスペルがあったけど、書いていくうちにわかるようになったし、書けるようになった。

—学校についてよくわかりました。

第2回発表後に共有した生徒の感想 (プロジェクト2)

- 文を自分たちで考え出すことが難しかった
- 図表を用いたのがよかった
- 発表がハキハキしていた
- 声が大きくてよかった
- 内容にあった絵があった
- さまざまな内容を調べていた(ほかの班)
- 文の構成
 - 言いたいこと
 - 例
 - まとめ(言いたいこと)

プロジェクト2において

書く作業をはじめてからの多読の感想

- たくさん知らない言葉がでてきた
- 知らない単語がたくさん出てきた
- 過去形
- 基本的にわかりやすい単語がたくさんあったので、内容を早く理解することができました。
- 今まで気づけなかったけど一つ一つの単語が過去形になっていることに気が付くことができた
- わかりやすい単語ばかりだったので話の内容を早く理解することができた。
- わからなかった単語がわかるようになった

結果

- 事前 平均14.00
- 事後 平均15.27
- $t(10) = 1.39, p = .20$

有意な差は見れなかった。

まとめ

動機づけの向上には効果は見られなかったが、生徒の気づきや学習の仕方に対する振り返りには

発表することで読み手を意識してライティングすることができた

読み手にわかりやすくするために、パラグラフの組み立てに気づいた

個々の単語をよく観察するようになった

という気づきがあった。

➤ 2年生からのライティング、またリーディングへこれらの振り返りが活用できるのではないだろうか。

参考文献

- 天満美智子. (1998). 『新しい英作文作成法』. 岩波ジュニア新書.
- 大井恭子. (2008a). 「クリティカル・シンキングを取り入れた表現授業の勧め」. 『関係性の教育学』.7 (1), 81-96, 2008-03. From http://ci.nii.ac.jp/els/110009509212.pdf?id=ART0009969403&type=pdf&lang=jp&host=cinii&order_no=&ppv_type=0&lang_sw=&no=1363149552&cp=
- 大井恭子. (2008b). 「思考力育成の試み——中学生の英語ライティング指導を通して」. 『千葉大学教育学部研究紀要』 第56巻 p. 175-184. from http://mitizane.ll.chiba-u.jp/metadb/up/AA11868267/13482084_56_175.pdf#search=%E6%80%9D%E8%80%83%E5%8A%9B%E8%82%B2%E6%88%90%E3%81%AE%E8%A9%A6%E3%81%BF ‘

ご清聴ありがとうございました。

執行智子

shigyotomoko@gmail.com

カレイラ松崎順子

carreira@tku.ac.jp